

# 第1章 合併検証について

## 1 検証作業の趣旨

平成17年4月1日に新伊方町が発足してから10年目を迎え、合併時に策定した新町建設計画の10年間の計画期間も最後の年となりました。

新町発足からこれまでの間、伊方町では新町建設計画に掲げたまちづくり事業に積極的に取り組んできましたが、合併からこれまでの間には東日本大震災をはじめ、合併前において想定していなかった情勢の変化は、新町まちづくり計画に大きな影響を与え、防災対策面での新たなニーズが生じると共に、福島第一原発の事故に伴い原子力発電に対する安全への不安が広がっています。

従って、合併後10年目となる節目において、今後のまちづくりを検討するにあたり、これまで町が取り組んできた新町のまちづくり施策の検証作業を行い、その成果を行政サービスの更なる向上や住民の一体感の醸成に継続して取り組むための基礎的資料として活用することとしました。

## 2 検証の視点

### ①合併協定及び新町建設計画に関する検証作業

平成17年4月1日の合併にあたり、3町（伊方町、瀬戸町、三崎町）が合併の約束事とも言える「合併協定」や合併後の新町のまちづくりの指針となる「新町建設計画」をとりまとめ、合併後においては新町建設計画を基本とした「伊方町総合計画」を定めて、地域の一体感醸成や町内の均衡ある発展に取り組んできたところです。

これまでの10年間のまちづくり事業等が、合併時に策定した新町建設計画の趣旨に沿い、適切に実施されてきたかどうか、その成果について検証します。

### ②行政改革大綱で掲げた目標に関する検証作業

伊方町では、平成18年に第1次行政改革大綱を策定し、町民サービスの向

上、組織機構の再構築、簡素で効率的な行財政運営などの行財政改革に取り組み、現在、第3次となる大綱を定めて、取り組みを進めています。

これまでに取り組んで来た行政改革・財政改革の成果等も踏まえて検証します。

### 3 検証する事項

#### ①合併協議項目の取り組み状況

合併時に取決めした合併協議項目及び事務事業の調整項目の中から、町民の暮らしに身近な項目について、合併時の方針に対し、現状としてどのように取り組んでいるか比較し、評価検証を行います。

#### ②新町建設計画の進捗状況

新町建設計画では、合併後のまちづくりを総合的かつ効果的に推進することを目的に、一体性の速やかな確立、住民福祉の向上、均衡ある発展に配慮したまちづくりのための主要施策を掲げています。

その施策を具現化するための主要事業について、合併後10年間における進捗状況について、評価検証を行います。

#### ③主要な行政サービスの実施状況

新町における主要な行政サービスについては、合併時に統合して実施したものや、新町において新たに着手したものなど様々ですが、住民生活に身近な主要な行政サービスの実施状況について、評価検証を行います。

#### ④財政運営の状況

市町村合併そのものが行政改革・財政改革の目的を有するものであることから、町の将来像を実現するための健全かつ持続的な財政経営基盤を確立することが重要であり、財政健全化のための取り組みを進めています。

合併後の財政状況について、どのように推移したか評価検証します。